

9月定例会 質 疑

9月定例会で提案された議案に対し、5名の議員が質疑を行い、不明確な点を問い、説明を求めました。主なものを紹介します。

議案第44号 加西市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

問 団員の定数削減について。

答 消防団あり方検討委員会で、団員の処遇改善と定数の適正化が議論され、一年間の活動実績により1,418人から1,173人にすることが望ましいと提言を受けました。分団及び部の構成など基本的な組織体制は現行通りです。

問 報酬の変更について。

答 消防団あり方検討委員会の中間報告で提言され、年額報酬を班長は8,600円から1万3,000円、その他団員は7,200円から1万1,000円にそれぞれ増額するものです。

問 団員手当の創設について。

答 災害等に出動した場合は1回2,000円、訓練出動は1回1,000円、広報活動は1回500円として出動回数に応じて支給したいと考えています。今年度10月以降の活動分から対応します。



議案第51号 加西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

問 幼児教育、保育の無償化と給食費の補助について。

答 消費税増税の財源を利用した無償化で、認可外の保育施設等にも適用されます。市独自の4、5歳児の保育料無償化に係る負担は1億9,000万円程度ですが、無償化の財源として1億3,000万円が交付されますので、軽減される財源を活用して、給食費の無償化を実施します。全国に先立ち給食費を含めた保護者負担軽減を推し進め、「安心して子育てできるまち加西市」を目指します。

議案第53号 財産の処分について

問 分譲予定価格の設定について。

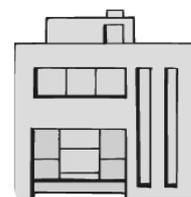
答 企業が進出可能で、さらに分譲収入により産業団地の整備費用が回収でき、一定の利益を生む価格として、平米単価3万250円を設定しました。近隣の産業団地の平均単価である坪10万円を参考にしています。1-2工区の売却予定価格は約21億円、整備費用は20億円を見込んでいます。

問 特別会計における造成事業等の負担財源の流れは。

答 特別会計の起債の限度額は16億円です。今年度の用地買収と工事発注にかかる費用は、一部起債措置をとり借り入れを予定しています。来年度の売却収入で起債は完済する予定です。起債には限度額があり、工区ごとに工事を完了させて起債を償還して、また新たな工区に着手する手順で進めます。

問 進出企業の事業開始予定と地元雇用について。

答 事業者からは、操業予定時期について、現時点で詳細な発表はなく、着工時期も今のところ不明です。新工場の構想中で、雇用人数等も不明ですが、多くを地元雇用し、操業開始時期に合わせて就職の募集活動を開始すると聞いています。



問 他の工区の状況について。

答 1-1工区は、5月に決定した優先交渉事業者と現在交渉中です。4工区では、公募締め切り後に全体を活用したい企業があり、条件を提示して検討していただいています。2工区は企業誘致に鋭意取り組んでいます。1-1工区の用地は、今年度末には買収を完了したいと考えています。

議案第54号 加西市立南部学校給食センター改築工事請負契約の締結について

問 1社だけの応札結果について。

答 建築工事の入札状況は土木工事に比べて少ない傾向です。近隣市での大型工事案件の不調情報もあり、市内外の業者への入札参加、JVの構成参加等を呼びかけましたが、1社となりました。全国的な工事等の需要の増大に伴い、資材や人手不足等が要因と認識しています。

問 今後の対応策は。

答 競争性の確保を行いながら、事業者が入札参加しやすい環境づくりの検討を進めます。

